

上中妻地域の成り立ちと歴史

平成26年版 地域コミュニティプラン掲載「上中妻の歴史年表」 表題変更及び内容一部修正・追記(※)版

年 月 日	こ と が ら
紀元前8000年頃	旧石器時代の人々が赤塚西団地のあたりに住みついた。
紀元前1500年頃	全隈から木葉下にいたる山の中で石斧や石矢じりがつくられた。
6世紀	この地区は常陸仲ノ国に属するようになった。
1602年(江戸)	徳川幕府が成立、大名の移封があり、大塚・金谷は宍戸領、飯島は水戸領、加倉井は天領及び旗本領となる。
1646年	水戸・宍戸両藩の間に村替えがあり、飯島が宍戸領となったが、その後旗本領となった。
1871年(明治4年)	廃藩置県で、飯島・加倉井は水戸県、金谷・大塚は宍戸県となる。
1873年(6年8月)	大塚町山田玄弘宅に大足小学校大塚分校として開校。
1874年(7年8月)	大塚分校が大塚小学校と改称。
1875年(8年)	四村とも茨城県管轄となる。
※1889年(22年)	水戸・小山間に鉄道が開通、金谷・大塚を通過するようになる。
//	大塚・加倉井・飯島・金谷が合併し東茨城郡上中妻村が誕生。
// (22年9月)	上中妻小学校と改称、創立記念日。
1907年(40年)	金谷に大火事があり、その後各大字に火の見・ポンプが備えられた。
1941年(昭和16年)	上中妻小学校が上中妻国民学校となる。
1947年(22年4月)	義務教育制度が6・3制に。上中妻国民学校が上中妻小学校となる。
// (22年5月)	上中妻中学校が小学校校舎を利用して開校。
1951年(26年4月)	上中妻村役場内に上中妻公民館が設置される。 大塚池畔に上中妻中学校新校舎を建設。
1952年～1958年 (27年～33年)	中妻地区土地改良区の団体営区画整理事業。 (上中妻・河和田・筑地)
1954年(29年)	桜川大排水路完成。笠間街道が国道に編入され50号線となる。
1955年(30年4月)	上中妻・河和田・山根の3ヶ村が合併して赤塚村となる。
1956年(31年4月)	上中妻中学校が河和田中学校と統合、赤塚第一中学校となる。
1958年(33年4月)	赤塚村が水戸市と合併、水戸市立赤塚中学校と改称。



昔の農民の生活の様子(大塚農民館)

年 月 日

こ と が ら

- 1961年(36年10月) 水戸市消防団第17分団設置。
- 1970年(45年12月) 水戸市民憲章推進協議会を制定。
地区市民憲章実践会・地区自治連合会となる。
- 1973年(48年7月) 上中妻地区実践会・上中妻地区町内会連合会を結成。
- 1982年(57年11月) 実践会が「上中妻の歴史」刊行。
- ※1984年(59年3月) 常磐道千代田石岡IC -那珂IC間開通・水戸IC供用開始。
- 1985年(60年1月) 上中妻公民館が現在地に竣工。上中妻小学校が現在地に移転。
- 1986年(61年4月) 大塚農民館が開館。(管理：水戸市立博物館)
- 1989年(平成元年4月) 赤塚出張所開設。金谷町農業集落排水処理施設が供用開始。
- 1991年(3年4月) 広報「ふれあいかみなか」刊行。
- 1994年(6年4月) 実践会20周年記念誌「上中妻のあゆみ」刊行。
- 1995年(7年4月) 大塚池公園を愛する会設立。
- 1996年(8月3月) 上中妻地区実践会・上中妻地区町内会連合会を解散。
- 〃 (8年4月) 水戸市住みよいまちづくり推進協議会設立。
上中妻地区住民の会設立。
- 1999年(11月9月) 上中妻地区防災会発足。
- 2001年(13年4月) 加倉井地区農業集落排水処理施設が供用開始。
- 〃 (13年7月) 広報「ふれあい上中妻」と改題。
- 2005年(17年10月) 上中妻地区防犯連絡会発足。
- 2006年(18年4月) 公民館に市民センターを併設。
- 2010年(22年4月) 公民館を市民センターに名称統一。
- 2011年(23年3月11日) 午後2時46分東日本大震災(震度7、M9.0)発生。
- 2012年(24年1月) 水戸市から防災倉庫と災害時備蓄品が配備。
- ※2022年(令和4年12月) 都市計画道路「赤塚駅西線開通」

国道50号線大塚町に靴内交差点新設。

参考資料：「上中妻の歴史」(上中妻地区実践会)
広報「ふれあい上中妻」



村民一体となった運動会(上中妻小学校記念誌)